

2007 AUTOBACS SUPER GT 第1戦 SUZUKA GT300km

2007 AUTOBACS SUPER GT ROUND 1
SUZUKA GT 300KM

鈴鹿サーキット国際レーシングコース 1周 5.807km

3.17 SuperLap 18 Race
sat 18 sun
SUZUKA CIRCUIT最新情報は <http://www.suzukacircuit.jp/> で! SUPER GT決勝 3月18日(日) 14:00(予定)

- 同日開催：フォーミュラチャレンジ・ジャパン 第1戦・第2戦 / 2007 NISSAN MARCH Cup West Japan series Round 1
- 主催：関西スポーツカークラブ(KSCC)・鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC) / 株式会社モビリティランド
- 公認：国際自動車連盟(FIA)・社団法人日本自動車連盟(JAF) ●認定：GTアソシエーション

いよいよ07シーズン到来! 鈴鹿サーキットでは3月17日(土)・18日(日)、「2007 AUTOBACS SUPER GT 第1戦 SUZUKA GT300km」を開催。開幕戦となるこのレースは、ルールにより毎戦上位チームに課せられるウェイトハンデもないため、真の実力勝負になる注目の1戦。予選にはスーパーラップを採用、息をのむポールポジション争いは必見です! また、そのレース実況をわかりやすく解説するFMラジオ放送「ビギナーおまかせ大放送774」も新開局! ぜひ会場へ携帯FMラジオをお持ちください。

ほかにも、17日(土)のキッズウォークや18日(日)のオープニングセレモニーなどスーパーGTをまるごと体感できるイベントも盛りだくさん! 前売り観戦チケットにはゆうえんち「モトピア」ののりものが乗り放題になるモトピアパスポートがついているので、レースもゆうえんちもたっぷりお楽しみいただけます。さらにサーキットビジョンをご覧いただける観戦エリアを増席。ほかにもV指定席やHondaファンシートなど魅力いっぱいの特典つき観戦チケットもあるので、お好みのスタイルで快適な観戦をお楽しみください!

GT500クラス ホンダNSX、トヨタSC430、ニッサンZ、07年型ニューマシンが対決! 大混戦必至の鈴鹿開幕戦



2007年型トヨタSC430



2007年型ニッサンZ

スーパーGTは今年も鈴鹿サーキットからし烈な戦いの幕が開く。ホンダ、トヨタ、ニッサン、世界を代表するメーカーが総力を挙げて開発した究極のマシンで争うGT500クラスは、毎年のように激しい戦いがくり広げられ、タイトル争いも最後まで決着がつかない大混戦が続いているが、今シーズン、その戦いはさらに激しさを増しそうだ。各メーカーとも精力的にマシン開発を続け、開幕戦の1か月も前に、07年型ニューマシンがすべて完成。テストでは早くも昨年を上回るタイムを記録しており、鈴鹿でこれまでにないハイスピードなバトルとなることが予想される。

昨年のチャンピオンマシン、トヨタ・レクサスSC430陣営は、昨年フォーミュラ・ニッポンで活躍したB・ビルドハイムが加わり6台が参戦。チャンピオン脇阪寿一/A・ロッセラー組は連覇に向けてすでに万全の体制だ。昨年はタイトル争いに加わりながら、最後に涙をのんだNSX陣営は、実力派D・シュワガーと昨年F3を戦った新鋭F・カルボーンが加入し5台体制となる。中でも気合十分なのが伊藤大輔/R・ファーマン組、道上龍/小暮卓史組だ。昨年はともに2回ずつ予選PPを獲得。その速さは今年も健在なだけに、まずは鈴鹿開幕戦優勝に照準を合わせている。ニッサン陣営は本山哲/R・ライアン組、M・クルム/松田次生組がV8、4500ccのNA(自然吸気)エンジン搭載のニューマシンで参戦。こちらも狙うは開幕V。3メーカーの07型最新鋭マシンでの対決が予想される鈴鹿開幕戦は、まさに見逃すことのできない戦いとなるだろう。



2007年型ホンダNSX

GT500トップドライバーインタビュー

開幕戦「SUZUKA GT300km」では、こう戦う!



■脇阪寿一選手

TOYOTA TEAM TOM'S (トヨタ レクサス SC430)

鈴鹿開幕戦は昨年勝たせてもらって、そこから突っ走れた。
鈴鹿は日本で一番チャレンジングなコースで自分が育ったコースでもある。それに鈴鹿で速い車はどのサーキットでも速い。
開幕戦を駆け抜けて、アンドレ(ロッテラー)と表彰台でパフォーマンスをしたいですね。



■立川祐路選手

TOYOTA TEAM CERUMO (トヨタ レクサス SC430)

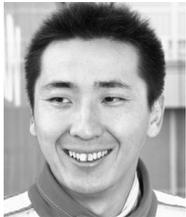
昨年は前半つまづいてしまいタイトルを獲れませんでした。今年は開幕ダッシュを狙います。もちろん開幕戦の目標は優勝です。
昨年は最終戦でスタート直後にリタイアして走れませんでした。鈴鹿ではその分もふくめて思い切り走ります。



■本山哲選手

NISMO (ニッサン フェアレディZ)

Zは新しくNA(自然吸気)エンジンになりました。開幕から速くなったところをファン
の皆さんに見せたいと思っています。
速くなったZのベストは勝つこと。優勝を狙ってがんばります。



■松田次生選手

NISMO (ニッサン フェアレディZ)

鈴鹿は地元ですからたくさんの方の方に見に来てもらえる。
優勝する姿を見せられるようテストでもがんばっています。
ぜひ鈴鹿サーキットに応援に来てください!



■道上龍選手

童夢レーシングチーム (Honda NSX)

昨年の開幕戦は予選でいいポジションだったのに、決勝はいい結果ではなかった。
開幕から勝てる状況でシーズンを戦わないとタイトルがとれないから、優勝できるようながんばります。

他も鈴鹿ではいいタイムを出してくると思いますが、その中でもまず予選PPを獲りたいですね。

Honda NSX勢を、Hondaファンシートで応援しよう! 詳しくは5ページをご覧ください



■伊藤大輔選手

AUTOBACS RACING TEAM AGURI (Honda NSX)

鈴鹿は地元ですので、常にいいところを見せたいと思っています。
開幕戦はウェイトハンディなしのガチンコ勝負なので、いかにNSXの速さを見せられるかですね。

マシンも速いですが、勢いだけは一番でレースに臨みたい。ファンのみさんにいいところを見せたいですね。

Honda NSX勢を、Hondaファンシートで応援しよう! 詳しくは5ページをご覧ください

GT300クラス チャンピオン請負人山野哲也がインプレッサで参戦 戦闘力を増した紫電、そしてRX-7、ヴィーマック、Z、MR-S、 ムルシエラゴに挑む

昨年RX-7を駆って紫電(高橋一穂/加藤寛規組)、ヴィーマック、Z、MR-Sと死闘を展開し、最終戦で大逆転のタイトルを獲得した山野哲也が、今シーズンはインプレッサで参戦することが決まった。山野は2004年から3年連続してGT300クラスのチャンピオンに輝いているが、04年はNSX、05年はMR-S、そして昨年はRX-7と、毎年異なる車種をドライブしての偉業で、これがチャンピオン請負人と呼ばれる所以だ。山野の加入でインプレッサが開幕戦のトップ争いに加わるのは必至の情勢だが、ライバルたちも黙ってはいない。特に最後の最後で逆転を許した紫電は、早々に今季に向けたテスト走行を実施。Z勢、MR-S勢も戦闘力を向上させてきた。加えて昨年の鈴鹿開幕戦で初優勝を飾ったランボルギーニ・ムルシエラゴのJLOC(ジャパン・ランボルギーニ・オーナーズ・クラブ)チームが、今年もムルシエラゴ2台で参戦継続の予定であり、まさに大混戦模様だ。開幕戦からGT500クラスを上回る激戦となるのは間違いないだろう。



山野 哲也



紫電



ムルシエラゴ

'07スーパーGT日程

【鈴鹿サーキット】

- 3/2・3 GTA公式テスト
- 3/17・18 SUZUKA GT300km(第1戦)
- 8/18・19 Pokka1000km (第6戦)

【ツインリンクもてぎ】

- 9/8・9 MOTEGI GT300km(第7戦)

FCJ/マーチカップ

昨年活躍の関口雄飛、中山友貴、山本龍司がF3、F・ルノーにステップアップ。 彼らに続く精鋭が結集したFCJは今年も大接戦の予感



ホンダ、トヨタ、ニッサン、世界のレースシーンを席巻する3メーカーがバックアップする、これまでにない形で昨年スタートしたのがFCJ(フォーミュラチャレンジ・ジャパン)。これは世界で活躍できる人材の発掘、日本のモータースポーツのすそ野を広げることを基本コンセプトに、2000ccエンジンを搭載した専用フォーミュラマシンで争われるもの。純粋にドライバーの力量でポジションが決まるよう、徹底したイコールコンディションが図られている。

昨年は関口雄飛、山本龍司、中山友貴らがタイトル争いを展開。関口が初代チャンピオンに輝いた。そして彼らはトヨタ、ニッサン、ホンダのスカラシップを獲得。関口と中山が今季の全日本F3参戦を、山本がイギリスF・ルノーシリーズ参戦を決め、夢のF1への第1歩をしるすことになった。

彼らに続けと今年もSRS-K(鈴鹿サーキットレーシングスクール カート)、SRS-F(鈴鹿サーキットレーシングスクール フォーミュラ)出身者をはじめ、有望な若手選手が多数参し、昨年以上の激しい戦いが予想されている。開幕戦鈴鹿を制すれば精神的な余裕

を持ってシーズンを戦うことができるだけに、手に汗握るシーンの連続となりそうな気配だ。

なお、3月13日(火)・14日(水)には鈴鹿サーキットで合同テストが予定されている。

- 3月17日(土): 第1戦予選/第2戦予選/第1戦決勝
- 3月18日(日): 第2戦決勝

激しいバトルが繰り広げられるマーチカップ West Japanシリーズは鈴鹿から始まる!

ワンメーカーならではの接戦が魅力のマーチカップ。2007年シーズンは昨年同様鈴鹿サーキットから始まる。あこがれの鈴鹿サーキットでのレースはこの開幕戦のみ。当然ドライバー達も気合が入る!

- 3月17日(土): 予選
- 18日(日): 決勝



SUPER GTをまるごと楽しむイベント情報！

Pit-FMラジオ放送「ビギナーおまかせ大放送774」が初開局！ 解説ていねい、ゆったりトーク。わかりやすいがモットーですっ！

モンスターマシンの爆音の中、場内実況が聞き取れない場合でも携帯FMラジオがあれば安心。主要な観戦席に場内実況の音声をラジオの周波数に乗せ配信する『Pit-FM』はレース観戦の定番だ。

また今回は、レース初心者にはわかりにくいペナルティやレース展開をより分かりやすく実況する『ビギナーおまかせ大放送774』を初放送！

携帯FMラジオ(とイヤホン)を持ってきてね！

●周波数76.0MHz.....

場内実況放送

●周波数77.4MHz.....

ビギナー観戦者用放送

■SUZUKA GT300km 観戦ガイド レース当日配布

レースやイベントの最新情報から、お得な話題まで情報満載！会場でGetしてね。

皆さん、こんにちは！鈴鹿サーキットレースアナウンサーの山本克典です！今年も鈴鹿サーキットで遊園地&レースをお楽しみ下さいね！

さて今回皆さんにお伝えしたいのは、実は、3月17・18日が開幕戦となる、SUZUKA GT300kmレースにおいて、私が場内実況とは別に、レース観戦初心者の皆様にも楽しくわかりやすい内容でレース実況・解説を放送することになりました。

サーキットに持ってきてもらいたいの、携帯FMラジオとイヤホン！周波数を77.4MHzに合わせてもらえれば、僕の声をキャッチしてもらえるからね。

僕も初めての事なので、今からワクワクドキドキ！とにかく僕も楽しんで放送するから、みんなもレース観戦を楽しんでね！



レースアナウンサー 山本克典氏

●オープニングセレモニー●



※写真はイメージです

シリーズ開幕戦ならではのオープニングセレモニー。ピットレーンに出場全チームのマシンと監督やドライバーやチームスタッフが勢ぞろい。荘厳な雰囲気、白子高校ブラスバンド部の演奏がさらに盛り上げます。

18日(日) スーパーGT決勝
スタート前開催(予定)

●大好評のキッズウォーク開催●



大好きなマシンやドライバーに超接近！好評なキッズ限定イベント「キッズウォーク」。大好きなマシンやドライバーに会おう。今回も土曜日の夕方に開催予定。

17日(土)夕方 開催(予定)

※写真はイメージです

●三重県立白子高等学校吹奏楽部が盛り上げる！●

鈴鹿市内にある三重県立白子高等学校 吹奏楽部がSUZUKA GT300kmに登場！毎年様々な賞を受賞し、常に全国トップクラスのレベルにある白子高校吹奏楽部が、生のブラスバンド演奏でSUZUKA GT300kmを盛大に盛り上げる。

※悪天候の際、中止となる場合があります。



●チューニングカー デモラン開催！●

チューニングカーを華麗に操るのは、なんとスーパーGTドライバー！迫力のデモ走行は、レースと一味違う面白さです。ドライバーによっては多彩なパフォーマンスが見られるかも？！

18日(日)昼 開催(予定)

●表彰式はコースサイドで祝福しよう！●

決勝レース後には、メインストレートのコースエリアを開放！表彰式をより間近で祝福できる特設エリアをご用意します。ウィニングランから戻ってきた選手とマシンをお迎えください。



18日(日) スーパーGT決勝終了後開催

※写真はイメージです

●GTAステージイベント●

ドライバートークショーでは、レース前の出場選手の“生の声”が聞けるチャンス！ほかに、鈴鹿サーキットクイーンやレースクイーンが出演するキャンギャルオンステージも開催。



17日(土)・18日(日)とも開催(予定)

■会場：グランプリスクエア

※写真はイメージです

※イベントの内容は変更になる場合がございます。ご了承ください。

快適さUPの観戦プランが増えました！

C席にサーキットビジョン新設！ A・C・Eエリア全てでビジョンが見れる！

今までのE席向けの仮設サーキットビジョンに加え、今回のレースにはC席向けの仮設サーキットビジョンが加えられ、より快適にレースをご覧いただけます。

※C・E席向けのサーキットビジョンは18日(日)のみ映像配信となります。
■A・C・Eエリアへご入場いただけるチケットの詳細は、6ページをご参照ください。

●V指定席は特製クッションつき！●

S2席の上部に位置するV席は、グランドスタンドの中でも一番高い位置に位置し(VIPスイート&テラスを除く)最終コーナーから1コーナーまでをほぼ見渡すことが出来ます。

V席ご購入者特典 折りたたみ式オリジナルクッション プレゼント！

- お渡し日時:3月18日(日)ゲートオープン~17:00(予定)
- お渡し場所:グランドスタンドV指定席裏インフォメーションカウンター
- ※引換えは3月18日(日)当日のみ有効
- ※V指定席1枚につきクッション1個進呈



前売りV指定席券 (税込)

5,000円

●特製カード型パドックパス枚数限定販売!●

パドックパスのカードフェイスは、SUZUKA GT300kmの公式ポスターをイメージしたデザイン。

- ・鈴鹿サーキットオリジナルストラップ(非売品)つき。
- ・限定枚数の販売となります。それぞれシリアルナンバーがついています。

※前売りにてご購入の方は、必ず特製カード型パドックパスとなります。(当日、レース場ゲート横券売所にて、引換えにてお渡しいたします。)
※子供(3才~小学生)パドックパスは特製カード型パドックパスではありません。あらかじめご了承ください。

★特典:激感エリア、ピットウォークもOK!

パドックパスをお持ちの方は第1コーナー手前イン側にある新設「激感エリア」にもご入場いただけます。

パドックパス (税込) 別途観戦券必要

	大人(中学生以上)	子供(3歳~小学生)
パドックパスA	16,000円	2,000円
パドックパスB	10,000円	1,500円



●Hondaファンシート(B2席)に集合!

2月18日(日)からホームページにて先着2,000名限定発売!



鈴鹿サーキットのホームページ(SUZUKA ONLINE)でHondaファンシート(前売観戦券)ご購入希望の方、先着2,000名様にHondaオリジナル応援グッズがセットになったパックです。

■特典

Honda応援スペシャルフラッグ+キャップをプレゼント!

■イベント

ドライバーが訪問!走行の間を縫ってHonda Racingドライバーがファンシートエリアを訪問します。

※レーススケジュール・その他の理由により変更または中止となる場合があります。

※ドライバーが訪問する時間は専用エリアにてご案内いたします。ファンシートエリア上の広場ではHondaマシン展示コーナーを設営。



※写真はイメージです。

■対象観戦券 ※各チケット料金は6ページをご参照ください

- 1.前売観戦券 2.ペア券<大人2人>
- 3.ファミ得チケット<大人2名・子供1名(3才以上高校生以下)>
- 4.観戦券 + A・C・Eエリア

※ペア券、ファミ得チケットは人数分のプレゼントが付きます。
※指定席のみの購入、パドックパス等は対象外となります。

■購入方法

Hondaファンシートは2月18日(日)より鈴鹿サーキットホームページ(SUZUKA ONLINE)からのみご購入いただけます。

■ご案内

※グッズ付観戦券は予定数になりましたら終了となります。
※グッズ引換券はチケット送付の際に同封いたします。
(引換日時・場所は、引換券に明記します)

●ピットウォーク券は特製カンバッジ!●

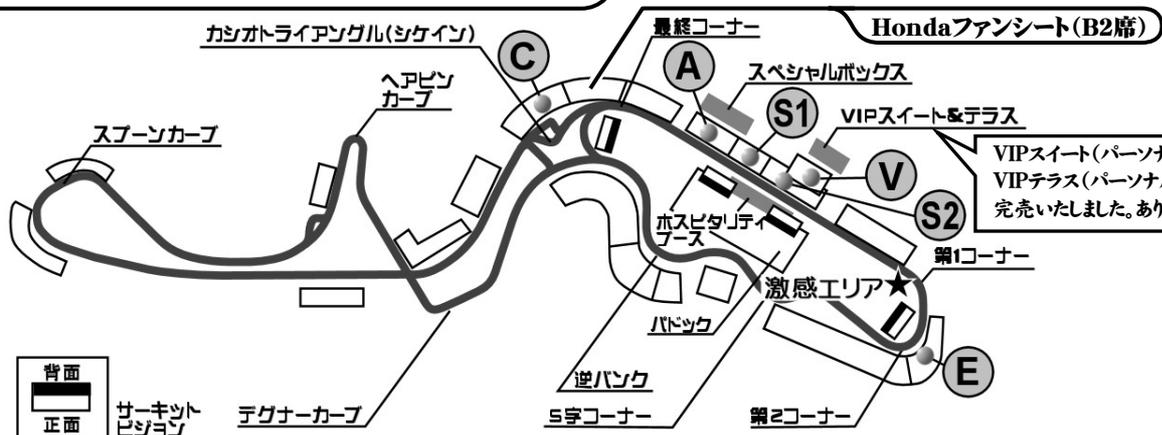
お昼のインターバルに実施するピットウォーク。今回のピットウォーク券はSUZUKA GT300km特製カンバッジだ!

※小学生以下は無料です。※カンバッジは大人の方のみのお渡しとなります。

ピットウォーク券 (税込) (土曜日・日曜日各日)

大人(中学生以上)	2,000円
-----------	--------

※当日、現地でのみの発売となります。



VIPスイート(パーソナル販売)・VIPテラス(パーソナル販売)は完売いたしました。ありがとうございました。

チケットインフォメーション

2月18日(日) 電話通信販売・SUZUKA ONLINE 販売開始!

※白抜き文字はHondaファンシート対象観戦券

前売り観戦券 (税込)		
大人 (パスポート付)	ペア(大人2名) (パスポート付)	中高生
5,000円	9,000円	1,600円

前売り指定席券 (税込)		
決勝日のみ有効・別途観戦券必要・A・C・Eエリア入場可能		
V指定席	S1指定席	S2指定席
5,000円	2,000円	1,500円

前売りファミ得チケット (税込)		
A・C・Eエリア券付き (決勝日のみ有効) パスポート付き (土・日いずれか1日)		
大人2名 + 3歳以上高校生以下 1名セット	追加券 大人	追加券 3歳以上高校生以下
13,000円	6,000円	3,000円

※ファミ得チケットは前売りのみの発売となります。

前売りエリア指定席券付き観戦券 (税込)	
A・C・Eエリアは決勝日のみ有効 パスポート付き (土・日いずれか1日)	
大人入場+A・C・Eエリア	6,000円

※エリア指定席券付観戦券は前売りのみの発売となります。

当日観戦券 (税込)		
	大人	中高生
土曜日	ゆうえんち入園料	
日曜日	6,000円	ゆうえんち入園料

当日指定席券 (税込)			
決勝日のみ有効・別途観戦券必要			
V指定席	S1指定席	S2指定席	A・C・Eエリア
5,500円	2,500円	2,000円	1,500円

※当日指定席券は、前売指定席券完売の際、販売いたしません。ご了承ください。

- ※高校生以下の方は、A・C・Eエリアへ無料でご入場いただけます。
- ※観戦券(一部券種を除く)にセットされているパスポート(レース開催日いずれか1日有効)は「ゆうえんちのりもの乗り放題モートピアパスポート」となります。
- ※指定席券は決勝日のみ有効です。
- ※V、S1、S2指定席券をお持ちの方は、A・C・Eエリアへの入場ができます。
- ※自由席の一部には団体専用席、メーカー・チーム応援専用席が区画されている場合がございます。あらかじめご了承ください。

■ご案内:

ゆうえんちモートピアパスポートをお持ちの大人のお客様は、追加料金でご観戦いただけます。

- ・レース決勝日のご観戦をご希望の場合は、別途追加料金1,800円にてご観戦いただけます。
- ・高校生以下のお客様は、これまで通り、ゆうえんち入園料のみで本レースをご観戦いただけます。

★シリーズチケットも好評発売中!★

チケットのお求めは		券種によってお取り扱いのない窓口もございます
鈴鹿サーキット電話通信販売 ☎059-378-1100	■インターネット SUZUKA ONLINE www.suzukacircuit.jp	
2月18日(日)~3月11日(日) (販売時間 10:00~16:00)	2月18日(日)10:00~3月11日(日) 24時間受付	
●電子チケットぴあ ●CN プレイガイド ●イープラス ●ローソンチケット ●am/pm ●サークルK ●ファミリーマート ●サンクス ●セブンイレブン ●全国主要プレイガイド ●JTB ●近畿日本ツーリスト ●日本旅行 ●トップツアー ●名鉄観光 ●鈴鹿サーキット各営業所<東京・名古屋・大阪・三重> ※コンビニには時間帯に制約があります。 ※販売店によって、一部取り扱いのない券種があります。		
チケットに関するお問い合わせ: 鈴鹿サーキットレースチケットセンター ☎059-378-1111(代)		

※VIPスイート(パーソナル販売)、VIPテラス(パーソナル販売)は完売いたしました。ありがとうございました。